

2026年度 学科別授業科目一覧表 (実務経験表記あり)

課程：工業専門課程

学科：情報処理科/システム開発コース

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
34	Java演習Ⅲ	2	60	4	必修	実習	有
35	Java資格対策	2	30	2	必修	講義	有
36	JavaScript	2	60	4	必修	実習	有
37	Python	2	60	4	必修	実習	有
38	モバイルアプリ開発	2	60	4	必修	実習	有
39	データサイエンス	2	30	2	必修	講義	有
40	AI基礎	2	60	4	必修	講義	有
41	C言語文法Ⅰ	2	30	2	必修	講義	有
42	C言語文法Ⅱ	2	30	2	選択	講義	無
43	C言語演習Ⅰ	2	60	4	必修	実習	有
44	C言語演習Ⅱ	2	60	4	選択	実習	無
45	C C N A Ⅱ	2	60	4	選択	実習	無
46	C C N A Ⅲ	2	30	2	選択	実習	無
47	サーバ構築	2	30	2	選択	実習	無
48	データベース演習(SQL)Ⅱ	2	30	2	必修	実習	有
49	データベース演習(SQL)Ⅲ	2	30	2	選択	実習	有
50	Oracle DBA	2	60	4	必修	実習	有
51	UML Ⅰ	2	30	2	必修	講義	有
52	UML Ⅱ	2	30	2	必修	講義	有
53	市場調査/要件定義	2	30	2	必修	実習	無
54	Linux Ⅰ	2	60	4	必修	実習	有
55	Linux Ⅱ	2	60	4	必修	実習	有
56	AWS演習	2	30	2	選択	実習	有
57	卒業制作Ⅰ	2	60	4	必修	実習	有
58	卒業制作Ⅱ	2	30	2	選択	実習	有
59	卒業制作Ⅲ	2	30	2	選択	実習	有
60	エクスターンシップⅠ	2	60	4	選択	実習	無
61	エクスターンシップⅡ	2	60	4	選択	実習	無
62	セキュリティⅡ	2	30	2	必修	講義	有

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
63	セキュリティⅢ	2	30	2	選択	講義	無
64	基本情報対策Ⅱ	2	30	2	必修	講義	有
65	基本情報対策Ⅴ	2	30	2	必修	講義	有
66	国家試験対策Ⅰ	2	30	2	選択	講義	無
67	国家試験対策Ⅱ	2	30	2	選択	講義	無
68	セキュリティマネジメント対策Ⅲ	2	30	2	選択	講義	無
69	MOS対策Ⅲ	2	30	2	選択	実習	無
70	ITDX論文研究	2	60	4	選択	講義	無
71	社会人教養（IT系）	2	30	2	選択	講義	無
72	社会人教養（資格取得系）	2	30	2	選択	講義	無
73	一般常識Ⅱ	2	30	2	必修	講義	無
74	基礎英語Ⅱ	2	30	2	必修	講義	有
75	表現技法	2	30	2	選択	講義	無
76	プレゼンテーション	2	30	2	選択	実習	有
77	体育実習Ⅱ	2	30	2	必修	実習	無
78	体育実習Ⅲ	2	30	2	選択	実習	無
79	社会人教養（非IT系）	2	30	2	選択	講義	無
80	課外活動Ⅱ	2	15	1	選択	実習	無

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	実習	Java演習Ⅲ		坂井 剛	有	4単位 60時間
【授業の到達目標及びテーマ】							
Java演習Ⅱで学習した内容を更に応用したプログラム開発技術を学ぶ。							
【講義概要】							
Javaの基本機能の復習、外部資源へのアクセス、開発ツールや単体テスト、ソースコードの管理、設計パターンなどIT開発現場において必要となる知識や経験をすべて一通り体験する。課題演習を一定数以上、十分な品質で提出することが必須となる。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Java演習Ⅰ・Ⅱの復習						
2	インスタンスの基本操作、クラスの種類						
3	関数とラムダ式						
4	JVM制御とリフレクション						
5	ファイルのアクセス						
6	ネットワークアクセス						
7	データベースアクセス						
8	基本的な開発ツールの理解と体験						
9	単体テストとアサーション						
10	メトリクスとリファクタリング						
11	ソースコードの管理と共有						
12	設計の原則とデザインパターン						
13	スレッドによる並列処理						
14	総合課題演習①						
15	総合課題演習②						
【成績評価方法】							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
	割合	70%			30%		100%
	(補足)	単位修得のためには指定された課題演習を提出することが必須となる。 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。					
【教員紹介】							
大学院卒業後、SEとして8年間開発業務に携わる。2010年より本校の教員として勤務。 Javaの資格に関しては「Oracle Certified Java Programmer Gold」所有。							
【教科書・参考文献】							
「スッキリわかるJava入門 実践編 第4版」 (インプレス)							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	Java資格対策		坂東 佑一	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
<p>全員：Oracle社認定のJava資格試験であるJava SE Bronze (1Z0-818) への合格をストイックに目指す。 +α：開発職を希望する者や、余力のある者はJava Silverの取得も強く推奨する。</p>							
【講義概要】							
<p>本授業に価値が出るかは、資格が取得できるかにかかっている。合格すれば著名なベンダ資格が手に入り就職にも有利となる一方、合格できなければ意義が薄い時間になってしまう。そのため資格取得をストイックに目指す。各人、最低教科書を3周すること。</p>							
回	授業計画及び学習の内容						
1	教科書の問題演習						
2	教科書の問題演習						
3	教科書の問題演習						
4	教科書の問題演習						
5	教科書の問題演習						
6	教科書の問題演習						
7	中間試験						
8	教科書の問題演習						
9	教科書の問題演習						
10	教科書の問題演習						
11	教科書の問題演習						
12	教科書の問題演習						
13	教科書の問題演習						
14	教科書の問題演習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	
割合	100%					100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること ・Java SE Bronze試験合格で、授業及び試験をすべて免除する 						
【教員紹介】							
<p>慶應義塾大学理工学部情報工学科(学士)、東京大学大学院学際情報学府(修士) NTT研究所(2013-2015)、慶應義塾ITC(2015-2020)での勤務を経て2020年2月～現職、保有資格70種以上</p>							
【教科書・参考文献】							
徹底攻略Java SE Bronze問題集 [1Z0-818] 対応 (インプレス)							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	JavaScript		山田 忍	有	4単位 60時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

JavaScriptの標準仕様を理解し、JavaScriptをWebサイトに組み込むことができるようになる。

【講義概要】

プログラミングの基礎について講義し、JavaScriptの書き方を演習を通して学ぶ。
各講義では授業の理解度を測るために課題の提出を求める。
各自JavaScriptについての研究を行い、発表をLT形式で行う。自身で研究を深めることでより理解を深めることを狙いとする。

回	授業計画及び学習の内容
1	JavaScriptの基本 変数、型、数値の計算、文字列の表現
2	JavaScriptの基本 関数、制御構文、正規表現、演算子
3	データ操作の基本 配列、オブジェクト、JSON、イベント処理
4	非同期処理、通信
5	APIからデータを取得し、使用する
6	アプリケーション制作
7	アプリケーション制作
8	アプリケーション制作
9	アプリケーション制作
10	アプリケーション制作
11	総合演習
12	総合演習
13	総合演習
14	総合演習
15	総合演習

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%	20%		20%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

大学院にてコミュニケーションデザイン/グラフィックデザインについて研究。
専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報/ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事☒

【教科書・参考文献】

いきなりプログラミングJavaScript、オリジナル教材

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2026		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Python	吉田 雅裕	有	4単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

本講義では、プログラミング言語『Python』の基本文法とその応用技術について学びます。最終的に、Pythonを用いて簡単なアプリ開発をすることができる水準のプログラミング能力を習得することが目標です。

【講義概要】

Pythonの変数、条件分岐、関数、モジュール、クラスなどの基本概念を演習形式で学びます。また、高度なプログラミング能力を習得するために必要なアルゴリズムの考え方や、アプリ開発の技法についても学習を行います。

回	授業計画及び学習の内容
1	Python基礎（環境構築、変数）
2	Python基礎（条件分岐）
3	Python基礎（繰り返し）
4	Python基礎（関数）
5	Python基礎（モジュール）
6	Python基礎（クラスとオブジェクト）
7	Python応用（アルゴリズム）
8	Python応用（計算量オーダー）
9	Python応用（Webシステム①）
10	Python応用（Webシステム②）
11	Python応用（Webシステム③）
12	Python応用（スクレイピング）
13	Python応用（AIシステム①）
14	Python応用（AIシステム②）
15	Python応用（AIシステム③）

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	30%		50%	20%		100%

（補足） 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

大学や専門学校でプログラミングとデータサイエンス（機械学習、統計学）の科目を6年間主に担当

【教科書・参考文献】

特になし

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	モバイルアプリ開発		高橋 義博	有	4単位 60時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

これまで複数年に渡りプログラミング言語を学習してきた成果を活かし、アプリ開発を学習していく。初めてとなるプログラミング言語 Kotlinを学び、一歩ずつアプリ開発を行い、複数のアプリを制作していく。

【講義概要】

Kotlinの基礎を学んだ後に、小さなアプリ開発を行い、アプリを完成させる達成感を体験するように授業は進んでいく。教科書を使用するため、教科書は必携すること。(貸出不可)

回	授業計画及び学習の内容
1	Android Studioについて。Kotlinについて。
2	クリックアプリ作成、LinearLayoutの確認
3	イベントの確認
4	フラワーシミュレーター
5	フラワーシミュレーター
6	エモーショナル写真集
7	エモーショナル写真集
8	早口言葉の達人
9	早口言葉の達人
10	いつでもどこでも難読漢字
11	いつでもどこでも難読漢字
12	ぜったい挫折しない日記帳
13	ぜったい挫折しない日記帳
14	課題レポート
15	課題レポート

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	60%		20%	20%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

15年以上、Webデザイナー・Webプログラマーとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。

【教科書・参考文献】

いきなりプログラミング Androidアプリ開発、Sara (著)、翔泳社

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2026		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	データサイエンス	吉田 雅裕	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Excelを用いたデータクレンジングの方法、データの正しい読み方、統計的手法を用いたデータ分析をできるようになる。実際のビッグデータに対して、データサイエンスの各種手法を適用できるようになる。

【講義概要】

ビッグデータの利活用が必須化している現代において、実際に大量のデータに接し、それを加工・分析・可視化するスキルが極めて重要となる。本講義では、Microsoft社の表計算ソフト『Excel』を用いて、演習を中心とした授業内容により、データサイエンスの基礎技術を習得する。

回	授業計画及び学習の内容
1	イントロダクション
2	データサイエンスのプロセス
3	データ収集①（公開データ）
4	データ収集②（アンケート調査）
5	データクレンジング
6	データ集計
7	データ可視化
8	統計学基礎
9	統計的推定
10	統計的検定
11	連関分析
12	相関分析
13	データサイエンス演習①
14	データサイエンス演習②
15	データサイエンス演習③

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合			100%			100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

1985年生まれ。山口県出身。東京大学大学院博士課程修了。博士(学際情報学)。日本学術振興会特別研究員を経て、2013年に日本電信電話株式会社に入社。5Gと自動運転に関する研究開発を経て、現在、中央大学国際情報学部准教授。コンピュータネットワークとAIに関する研究教育活動に従事。

【教科書・参考文献】

参考文献：吉田雅裕，『Pythonで学ぶはじめてのデータサイエンス』，技術評論社，2023

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2026		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	AI基礎	吉田 雅裕	有	4単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

情報社会が抱える諸問題を多角的に分析・解明した上で、その問題の解決策を論理的に構築するために有用なデータマイニングの基礎技術の習得を目指す。実社会のビッグデータを対象に、データクレンジングの方法やAIの適用方法を学習し、データマイニングによって得られる結果を正しく理解するための論理的思考力を身に着ける。例として、身近な医療や保健のデータ、電子メールのデータ、スーパーマーケットの商品販売履歴などのデータを学習に利用する。日ごろ直感的に感じていることと、データマイニングでわかることを比較し、データマイニングに関するより深い理解を得る。

Pythonを使って、実際にデータマイニングを行うための具体的な方法論を習得する。Pythonを使って実際のビッグデータに対して基礎的な分析ができるようになる。データ分析結果の正しさを判断し、データサイエンスで論理的な主張を行えるようになる。

【講義概要】

膨大な非構造化データ、いわゆるビッグデータから、何らかの知見を導き出すデータマイニングについて学修する。連関規則、決定木、クラスタ分析、回帰分析、自己組織化マップ、ニューラルネットなどについて学び、ツールを用いることによっていわゆるAI（弱いAI）を活用することができる水準の技術を獲得する。機械学習についても、教師あり学習、教師なし学習、強化学習の特徴を把握し、自らが行う問題解決に際して、適切な方法を選択できる力量を養う。本講義では、プログラミング言語『Python』を用いたデータマイニングを行う。演習を中心とした授業内容により、データマイニングとAIの基礎技術を学習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	イントロダクション
2	Pythonプログラミング
3	データ収集
4	データ前処理
5	確率統計
6	統計的検定
7	A/Bテスト
8	アルゴリズム
9	回帰
10	分類
11	クラスタリング
12	レコメンド
13	時系列分析、自然言語処理
14	画像分析
15	データ分析コンペ

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合			100%			100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

1985年生まれ。山口県出身。東京大学大学院博士課程修了。博士(学際情報学)。日本学術振興会特別研究員を経て、2013年に日本電信電話株式会社に入社。5Gと自動運転に関する研究開発を経て、現在、中央大学国際情報学部准教授。コンピュータネットワークとAIに関する研究教育活動に従事。

【教科書・参考文献】

吉田雅裕, 『Pythonで学ぶはじめてのデータサイエンス』, 技術評論社, 2023

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	C言語文法 I		坂井 剛	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
C言語を学習しつつ既に学習したJavaとの違い、そしてプログラミングを通してハードウェアやシステムのより深い知識を理解することを目的とする。本講義はC言語演習とセットとなり、本講義で学んだ内容を演習ですぐに活かせるような内容となる。																					
【講義概要】																					
Java文法/演習Ⅲまで学習した学生を対象とするため、プログラミングの基本的な内容は省略する。C言語の特徴とJavaとの違いを前半に学び、後半はポインタやマルチスレッドなど高度な処理を学ぶ。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	C言語の基礎と特徴。他言語との違い。																				
2	基本的な処理。(条件分岐、繰り返し、配列、文字列処理)																				
3	関数。																				
4	ポインタとメモリ構造①。																				
5	ポインタとメモリ構造②。																				
6	ファイル入出力。																				
7	中間試験																				
8	構造体、クラス。																				
9	クラスを使用したプログラミング。Javaとの違い。																				
10	マルチスレッド①。																				
11	マルチスレッド②。																				
12	ネットワークプログラミング。																				
13	データベース接続プログラミング。																				
14	C言語プログラミングに役立つライブラリ、開発ツール。																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他()</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>70%</td> <td></td> <td></td> <td>30%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計	割合	70%			30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計															
割合	70%			30%		100%															
(補足) 単位修得のためには指定された課題演習を提出することが必須となる。 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
大学院出身後、8年間企業においてSEとして業務に携わる。 その後2010年より教員として勤務。																					
【教科書・参考文献】																					
「C言語 新版 ゼロからはじめるプログラミング」(翔泳社)																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	選択	C言語文法Ⅱ		砂賀 勝己	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
C言語の復習を行う。最後の方でC++に紹介程度に触れる。																					
【講義概要】																					
C言語Ⅰで理解が進んでいない場合について、再度基礎の基礎からしっかりと学習する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	基本構文(for/if/while/switchなど)																				
2	配列																				
3	関数																				
4	標準関数																				
5	構造体																				
6	ポインタ1																				
7	中間試験																				
8	ポインタ2																				
9	ファイル																				
10	プリプロセッサ																				
11	コマンドライン																				
12	メモリの動的確保																				
13	C++基礎1																				
14	C++基礎2																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>80%</td> <td></td> <td></td> <td>20%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
教育機関にて学内ネットワークや成績管理システム等の学内インフラの設計や運用保守等に従事 教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当																					
【教科書・参考文献】																					
-																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2026	2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	C言語演習 I	坂井 剛	有	4単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

C言語を学習しつつ既に学習したJavaとの違い、そしてプログラミングを通してハードウェアやシステムのより深い知識を理解することを目的とする。本講義はC言語文法とセットとなり、文法で学んだ内容を演習ですぐに活かせるような内容となる。

【講義概要】

Java文法/演習Ⅲまで学習した学生を対象とするため、プログラミングの基本的な内容は省略する。C言語の特徴とJavaとの違いを前半に学び、後半はポインタやマルチスレッドなど高度な処理を学ぶ。

回	授業計画及び学習の内容
1	C言語の基礎と特徴。他言語との違い。
2	基本的な処理。(条件分岐、繰り返し、配列、文字列処理)
3	関数。
4	ポインタとメモリ構造①。
5	ポインタとメモリ構造②。
6	ファイル入出力。
7	中間試験
8	構造体、クラス。
9	クラスを使用したプログラミング。Javaとの違い。
10	マルチスレッド①。
11	マルチスレッド②。
12	ネットワークプログラミング。
13	データベース接続プログラミング。
14	C言語プログラミングに役立つライブラリ、開発ツール。
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	70%			30%		100%

(補足) 単位修得のためには指定された課題演習を提出することが必須となる。
授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

大学院出身後、8年間企業においてSEとして業務に携わる。
その後2010年より教員として勤務。

【教科書・参考文献】

「C言語 新版 ゼロからはじめるプログラミング」(翔泳社)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 選択	実習	C言語演習Ⅱ		砂賀 勝己	無	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
C言語の復習を行う。最後の方でC++に紹介程度に触れる。																					
【講義概要】																					
C言語Ⅰで理解が進んでいない場合について、再度基礎の基礎からしっかりと学習する。 文法で学んだことを演習することで、理解力をさらに深める。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	基本構文(for/if/while/switchなど)																				
2	配列																				
3	関数																				
4	標準関数																				
5	構造体																				
6	ポインタ1																				
7	総合演習1																				
8	ポインタ2																				
9	ファイル																				
10	プリプロセッサ																				
11	コマンドライン																				
12	メモリの動的確保																				
13	C++基礎1																				
14	C++基礎2																				
15	総合演習2																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
教育機関にて学内ネットワークや成績管理システム等の学内インフラの設計や運用保守等に従事 教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当																					
【教科書・参考文献】																					
-																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	選択	CCNA II		平塚 悠生	無	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
コンピュータネットワークが繋がる理由、仕組みと基本的なネットワーク機器の設定を習得する。																					
【講義概要】																					
ネットワークが繋がる仕組みを踏まえて、シミュレーションソフトを利用してネットワークの構築演習を行う。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	データ分割とカプセル化, トランスポート層について																				
2	スイッチとハブの動作の違い, MACアドレスについて																				
3	MACアドレステーブル作成方法, スwitchの基本設定演習																				
4	ポートセキュリティ概要, 設定演習																				
5	ACL概要と設定演習																				
6	ここまでの復習																				
7	中間試験																				
8	ACL設定演習, NAT概要																				
9	NAT設定演習																				
10	ルータに名前を付ける, バナーメッセージを設定する, 設定の削除																				
11	ルーティングテーブルの閲覧																				
12	ルータのIFに設定を施す, 疎通確認																				
13	ルータに施された設定の確認																				
14	ここまでの復習																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他 ()</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>50%</td> <td></td> <td></td> <td>50%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	割合	50%			50%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計															
割合	50%			50%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。																					
【教員紹介】																					
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は17年程度。																					
【教科書・参考文献】																					
-																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	選択	CCNAⅢ		平塚 悠生	無	2単位 30時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

コンピュータネットワークが繋がる理由、仕組みと基本的なネットワーク機器の設定を習得する。

【講義概要】

ネットワークが繋がる仕組みを踏まえて、シミュレーションソフトを利用してネットワークの構築演習を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	エンドデバイスに必要な設定を施す
2	デバイスの接続演習
3	仮想端末接続のための設定
4	スタティックルートの設定
5	ダイナミックルートRIPの設定
6	ここまでの復習
7	中間試験
8	スイッチがたくさん存在するトポロジの作成
9	スパニングツリープロトコル発動トポロジの作成と状態の確認
10	VLANとは
11	アクセスポートとトランク接続とは
12	VLAN間接続のやり方について
13	VLAN導入によるセキュリティ向上について
14	ここまでの復習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%			50%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は17年程度。

【教科書・参考文献】

-

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 選択	実習	サーバ構築		砂賀 勝己	無	2単位 30時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

社会ではとても多くのWindowsマシンが使われており、それをセキュアな状態に保つ、管理を行うためのスキルはとても重要である。本講座ではそのための基礎知識となるWindowsクライアント/サーバのセキュリティ設定に関する手法を取得することを目的とする。

【講義概要】

Windowサーバ/クライアント環境におけるセキュアなシステム構築の手法について学習する

回	授業計画及び学習の内容
1	Windowsドメイン、ワークグループ、Active Directory
2	ユーザとグループ-概要、ローカルとドメインでの違いなど
3	ドメインでのグループと組織単位の管理
4	NTFSアクセス権
5	共有アクセス権
6	共有フォルダの管理
7	グループポリシー1
8	グループポリシー2
9	グループポリシー3
10	EFS(暗号化ファイルシステム)、リモートでの管理
11	イベントログ、監査1
12	監査2
13	監査3
14	実技試験1
15	実技試験2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

教育機関にて学内ネットワークや成績管理システム等の学内インフラの設計や運用保守等に従事
教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当

【教科書・参考文献】

-

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2026	2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
専門 必修	実習	データベース演習(SQL) II	坂井 剛	有
単位・時間数				
2単位 30時間				

【授業の到達目標及びテーマ】

データベースを操作するためのSQLに関する基礎学習と、演習を通じた経験を取得する。
ベンダー資格「ORACLE MASTER Silver SQL 2019」取得を視野に入れた講義内容となる。

【講義概要】

データベース演習 I で学習した基礎を基にした高度なSQL操作を学習する。
資格「ORACLE MASTER Silver SQL 2019」の取得により本講義は免除となる。

回	授業計画及び学習の内容
1	復習演習（検索、ソート、重複排除）
2	復習演習（グループ分け、グループ関数）
3	副問合せ文
4	表結合（内部結合、外部結合）
5	集合演算子
6	ウィンドウ関数
7	中間試験
8	表作成、データ型
9	制約とデフォルト値
10	データベースオブジェクト（ビュー）
11	データベースオブジェクト（インデックス、シーケンス、シノニム）
12	ストアードプロシージャ
13	データベーストリガー
14	データベース設計演習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%			30%		100%

(補足) 単位修得のためには指定された課題演習を提出することが必須となる。
授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

大学院出身後、8年間企業においてSEとして業務に携わる。
その後2010年より教員として勤務。
Oracle Master 10g~12c Silver (10g Goldは筆記のみ取得) 所有。

【教科書・参考文献】

『オラクルマスター教科書 Silver SQL Oracle Database SQL』（翔泳社、ISBN-9784798172361）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 選択	実習	データベース演習(SQL)Ⅲ		龔 恵美子	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
関係データベースの設計手順を理解し、システムの機能要件をもとにデータベースの設計が行えるようになる。 これまで学習したSQL文を用いて実際に構築を行う。																					
【講義概要】																					
講師が提示した機能要件に沿って、DBの概念設計、論理設計、物理設計を行う。 設計結果からDBを構築する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	SQL文の復習 1																				
2	SQL文の復習 2																				
3	SQL文の復習 3																				
4	概念設計																				
5	論理設計、正規化																				
6	物理設計																				
7	設計のまとめ																				
8	DB構築演習 1																				
9	DB構築演習 2																				
10	DB構築演習 3																				
11	要件追加による設計の追加作業 1																				
12	要件追加による設計の追加作業 2																				
13	追加要件のDB構築演習 1																				
14	追加要件のDB構築演習 2																				
15	総まとめ																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>70%</td><td></td><td></td><td>30%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table> (補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	70%			30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	70%			30%		100%															
【教員紹介】																					
前職にてシステム開発業務に約20年従事し、DBの構築やSQLを用いたデータ管理業務にも長く携わる。OracleSilverFellow保持。																					
【教科書・参考文献】																					
スッキリわかるSQL入門(株式会社フレアリンク)																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2026	2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
専門 必修	実習	Oracle DBA	坂井 剛	有

【授業の到達目標及びテーマ】

Oracleデータベースシステムの構成技術の修得、及び実際にシステム構築を通して実体験を行う。
ベンダー資格「ORACLE MASTER Bronze DBA 2019」取得を目的とする。

【講義概要】

教科書を利用した学習と実演習を通し、Oracle Master Bronze取得に必要な総合知識を修得する。
その他、Oracle Master Silverの一部領域、試験範囲外だが重要な項目に関しても本講義で取り入れる。
「ORACLE MASTER Bronze DBA 2019」以上の資格取得により本講義は免除となる。

回	授業計画及び学習の内容
1	Oracleデータベース管理の概要
2	Oracleソフトウェアのインストールとデータベースの作成
3	Oracle Enterprise Manager Database ExpressおよびSQL管理ツールの使用
4	Oracle Network環境の構成
5	Oracleインスタンスの管理
6	データベース記憶域構造の管理
7	初期化パラメータと制御ファイルの管理
8	中間試験
9	ユーザーおよび権限管理
10	スキーマオブジェクト（ビュー、索引、順序、別名）
11	データベースの監視およびアドバイザの使用
12	データベースのバックアップとリカバリ
13	マルチテナントデータベース
14	総合復習演習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%			30%		100%

(補足) 単位修得のためには指定された課題演習を提出することが必須となる。
授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

大学院出身後、8年間企業においてSEとして業務に携わる。
その後2010年より教員として勤務。
Oracle Master 10g~12c Silver (10g Goldは筆記のみ取得) 所有。

【教科書・参考文献】

『オラクルマスター教科書 Bronze DBA Oracle Database Fundamentals』（翔泳社、ISBN-9784798166360）
『オラクルマスター教科書 Silver DBA Oracle Database Administration I』（翔泳社、ISBN-9784798166353）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	UML I		山口 慶輔	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
到達目標はシステム開発の要件定義、基本設計、詳細設計、プログラム設計等の各工程で使用するダイアグラムを主体的に作成できるよう、UML統合環境ツールの基本的な使用方法を習得する																					
【講義概要】																					
UML統合環境を使用した各種ダイアグラムの基本的な表記法、あわせてどのように図を描くか具体的に想像できるよう実践的な手法を解説する																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	UMLとは オブジェクト指向 歴史的背景 標準化 Astah professionalツールの使用法とダイアグラムの種類の説明																				
2	ユースケース図 特徴(振る舞い図) 表記ルール アクターとユースケース オブジェクト間の関係																				
3	ユースケース図 関連 包含 拡張 汎化 演習問題(基本問題 問題の捉え方 掘み方)																				
4	ユースケース図 演習問題(応用問題 実践問題 解放の手引き)																				
5	オブジェクト図 特徴(構造図) 表記ルール オブジェクトアイコン 属性 関係 インスタンスとクラス																				
6	オブジェクト図 演習問題(基本問題 応用問題 解放の手引き)																				
7	中間試験																				
8	クラス図 特徴 表記ルール 属性 操作 可視性 多重度 ロール クラス間の関係について																				
9	クラス図 関係には(関連 限定子 複数関連 集約 依存 汎化)																				
10	クラス図 関係には(コンポジション 実現 抽象クラス 関連クラス)																				
11	クラス図 演習問題(基本問題からクラスアイコン クラス間の関係の表記 ロールと多重度の表記)																				
12	クラス図 演習問題(応用問題 実践問題 UML/L1レベル相当の問題)																				
13	シーケンス図 特徴 表記ルール 同期メッセージ 非同期メッセージ リプライメッセージ																				
14	シーケンス図 ロストメッセージ ファウンドメッセージ 実行指定																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他 ()</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>75%</td> <td>10%</td> <td></td> <td>15%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	割合	75%	10%		15%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計															
割合	75%	10%		15%		100%															
(補足) ・授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること ・毎回の作成プロジェクトファイル、章ごとの演習問題のプロジェクトファイルはGoogle Class roomに必ずアップすること																					
【教員紹介】																					
開発ベンダー系IT企業でプログラマを経てSEとして開発業務に従事。 システム設計、アプリ基盤構築、複数の言語での開発経験有り。																					
【教科書・参考文献】																					
技術評論社 かんたんUML入門 [改訂2版] ナツメ社 はじめて学ぶUML 第2版																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	UML II		山口 慶輔	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
到達目標はシステム開発の実践の場で要件定義、基本設計、詳細設計、プログラム設計等でUMLでドキュメントを作成出来るようになることで、環境としてはUML統合環境ツールの使用を一人称で活用出来るところを目指します							
【講義概要】							
前年2年生後期からの継続実習でUML統合環境を活用したダイアグラム表記が各表記法で描けかつ実践的な表記を習得する							
回	授業計画及び学習の内容						
1	シーケンス図 制御構造化表現の表記法 パラレル クリティカル break ref assert seq ignore strict						
2	シーケンス図 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説) 演習の解法・解説						
3	コミュニケーション図 ライフライン及び基本表記法 メッセージの種類・表記法 オブジェクトの関連						
4	コミュニケーション図 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説)						
5	ステートマシン図 基本的表記法 状態遷移の表記法 状態の階層化 疑似状態 状態再利用 拡張の表記						
6	ステートマシン図 状態遷移とトリガ 状態の階層化 直交状態 各々疑似状態 履歴疑似 選択疑似						
7	中間試験						
8	ステートマシン図 フォークとジョイン疑似 ジャンクション疑似 停止疑似 合成状態						
9	ステートマシン図 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説)						
10	アクティビティ図 基本的表記法 アクションとノード 各々のノード 各々のアクション 表記上の注意点						
11	アクティビティ図 パーティション 呼出し振舞アクション 入出力ピン パラメータアクティビティノード						
12	アクティビティ図 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説)						
13	パッケージ図 基本的表記法 パッケージ図の描き方 階層構造 依存関係 表記上の注意点						
14	パッケージ図 内部要素の切り出し 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説)						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計	
割合	75%	10%		15%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。							
【教員紹介】							
開発ベンダー系IT企業でプログラマを経てSEとして開発業務に従事。システム設計、アプリ基盤構築、複数の言語での開発経験有り。							
【教科書・参考文献】							
技術評論社 かんたんUML入門 [改訂2版] ナツメ社 はじめて学ぶUML 第2版							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	市場調査/要件定義		砂賀 勝己	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
現実に起こりうる「要件定義を元に、その要件に合うシステムの設計、機器構成、提案を行う」ための手法について学習する。よりよい提案資料の作成方法についても考察を行う。							
【講義概要】							
原則としてグループで作業をする。 評価は出席、レポート、各回の発表、公開資料、他者の講評にて行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ソリューションとは						
2	グループワーク						
3	グループワーク						
4	グループワーク						
5	発表						
6	グループワーク						
7	グループワーク						
8	グループワーク						
9	発表						
10	グループワーク						
11	グループワーク						
12	グループワーク						
13	発表						
14	まとめ1						
15	まとめ2						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	100%					100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
教育機関にて学内ネットワークや成績管理システム等の学内インフラの設計や運用保守等に従事 教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	Linux I		鈴木 俊	有	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
Linuxの利用に必要な基礎知識と基本操作方法（ファイル操作からシステム管理まで）を習得することを目標とする。																					
【講義概要】																					
各回、テーマに沿った演習（実機コマンド操作）を実施する。各演習の作業証跡（ログや画面キャプチャ）を提出課題（平常点）とする。また、復習としてのレポート・自習課題も提出とする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Linuxのインストール																				
2	Linuxのコマンドライン操作の基本（ファイル操作）①																				
3	Linuxのコマンドライン操作の基本（ファイル操作）②																				
4	シェルのメタキャラクタ																				
5	標準入出力とリダイレクト																				
6	viエディタ																				
7	中間試験																				
8	パイプラインと grep コマンド																				
9	ユーザーとグループの管理																				
10	所有者管理とアクセス権																				
11	パッケージ管理																				
12	デバイスとファイルシステム																				
13	シェルスクリプト																				
14	バックアップとジョブスケジューリング																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験</th><th>小テスト</th><th>自習課題</th><th>平常点（演習課題提出）</th><th>その他</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>40%</td><td></td><td>10%</td><td>50%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験	小テスト	自習課題	平常点（演習課題提出）	その他	合計	割合	40%		10%	50%		100%
評価項目	試験	小テスト	自習課題	平常点（演習課題提出）	その他	合計															
割合	40%		10%	50%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事 携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等																					
【教科書・参考文献】																					
Linux I（ベーシック）-オリジナルテキスト																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	Linux II		鈴木 俊	有	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
Linuxを使用したWebサーバー、DNSサーバー、メールサーバー構築の基本を習得することを目標とする。また、サーバー公開時におけるセキュリティ知識の基本を身につける。																					
【講義概要】																					
各回、テーマに沿った演習（実機コマンド操作）を実施する。各演習の作業証跡（ログや画面キャプチャ）を提出課題（平常点）とする。また、復習としての自習課題も提出とする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Linuxのインストール																				
2	パッケージ管理																				
3	Webサーバーの構築（Apache Webページの公開設定）																				
4	Webサーバーの構築（Apache セキュリティ設定）																				
5	Webサーバーの構築（Apache SSLの利用、PHPとMariaDBの連携）																				
6	SSHの公開鍵・秘密鍵認証、ファイアウォールの設定																				
7	中間試験																				
8	DNSサーバー（BIND）の構築（DNS権威サーバー）																				
9	メールサーバーの構築（Postfix、Dovecotの利用）																				
10	メールサーバーの構築（MUAの利用）																				
11	メールサーバーの構築（SSLの利用）																				
12	総合演習①																				
13	総合演習②																				
14	総合演習③																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験</th><th>小テスト</th><th>自習課題</th><th>平常点（演習課題提出）</th><th>その他</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>40%</td><td></td><td>10%</td><td>50%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験	小テスト	自習課題	平常点（演習課題提出）	その他	合計	割合	40%		10%	50%		100%
評価項目	試験	小テスト	自習課題	平常点（演習課題提出）	その他	合計															
割合	40%		10%	50%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事 携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等																					
【教科書・参考文献】																					
Linux II（サーバー&セキュリティ）-オリジナルテキスト																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 選択	実習	AWS演習		松田 将典	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
クラウドコンピューティングで利用されるAWSについて、基礎から学び、自力で基礎的な環境が作れるようになる。																					
【講義概要】																					
世界で広く利用されているパブリッククラウドサービスやAWSについての基礎知識を学び、実際にAWSの環境にログインして操作しながら、知識や操作方法を習熟する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	システムの基本概念とクラウドの導入、AWSの基礎																				
2	前回の続き、コンピューティングサービスの基礎(EC2)																				
3	前回の続き、ネットワークサービスの基礎(VPC)																				
4	前回の続き																				
5	前回の続き、データベースサービスの基礎(RDS)																				
6	前回の続き																				
7	総合演習1(基本的な構築の復習)																				
8	総合演習1解説、ストレージサービスの基礎(EBS、S3)																				
9	前回の続き、セキュリティサービスの基礎(IAM他)																				
10	管理サービスの基礎(CloudWatch他)、コンピューティングサービスの応用(Lambda他)																				
11	ネットワークサービスの応用(ELB他)																				
12	総合演習2(Webシステムの構築)																				
13	総合演習2解説、ストレージサービスの応用(EFS他)、データベースサービスの応用(Aurora他)、他																				
14	まとめ1																				
15	まとめ2																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他()</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
SIerにて、金融系システム基盤開発等に従事し、システムエンジニアとしての一連のシステム開発工程を経験。																					
【教科書・参考文献】																					
オリジナルテキスト																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	卒業制作 I		坂井 剛	有	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
今までの学習のまとめとして、各自でテーマを決め、作品を完成する。作業は1～3人のグループで行い、プロジェクト管理についても経験する。最後に作品について発表し、論文を執筆し提出する。																					
【講義概要】																					
指導教員は、システムの全体設計に関わる相談、発表指導、論文指導を行う。評価は、発表を重視する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	チーム決め。																				
2	テーマ決定、リーダー決定。テーマ発表準備																				
3	第1回 中間発表（テーマ発表）																				
4	中間発表の批評を受けてテーマの再検討、制作作業																				
5	制作作業																				
6	制作作業																				
7	制作作業																				
8	第2回 中間発表（制作システムの何らかの画面や機能を最低限1つは見せること）																				
9	制作作業																				
10	制作作業・発表準備・卒業論文執筆																				
11	制作作業・発表準備・卒業論文執筆																				
12	制作作業・発表準備・卒業論文執筆																				
13	第3回 卒業制作発表リハーサル（制作システムのデモを必ず含めること）																				
14	最終発表調整																				
15	第4回 卒業制作発表																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>70%</td> <td></td> <td></td> <td>30%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	70%			30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	70%			30%		100%															
(補足) 単位修得のためには指定された課題演習を提出することが必須となる。授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。																					
【教員紹介】																					
大学院出身後、8年間企業においてSEとして業務に携わる。その後2010年より教員として勤務。																					
【教科書・参考文献】																					
各自で準備。																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2026		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 選択	実習	卒業制作Ⅱ	坂井 剛	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

今までの学習のまとめとして、各自でテーマを決め、作品を完成する。作業は1~3人のグループで行い、プロジェクト管理についても経験する。最後に作品について発表し、論文を執筆し提出する。

【講義概要】

指導教員は、システムの全体設計に関わる相談、発表指導、論文指導を行う。評価は、発表を重視する。

回	授業計画及び学習の内容
1	チーム決め。
2	テーマ決定、リーダー決定。テーマ発表準備
3	第1回 中間発表（テーマ発表）
4	中間発表の批評を受けてテーマの再検討、制作作業
5	制作作業
6	制作作業
7	制作作業
8	第2回 中間発表（制作システムの何らかの画面や機能を最低限1つは見せること）
9	制作作業
10	制作作業・発表準備・卒業論文執筆
11	制作作業・発表準備・卒業論文執筆
12	制作作業・発表準備・卒業論文執筆
13	第3回 卒業制作発表リハーサル（制作システムのデモを必ず含めること）
14	最終発表調整
15	第4回 卒業制作発表

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%			30%		100%

（補足） 単位修得のためには指定された課題演習を提出することが必須となる。
授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

大学院出身後、8年間企業においてSEとして業務に携わる。
その後2010年より教員として勤務。

【教科書・参考文献】

各自で準備

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2026		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 選択	実習	卒業制作Ⅲ	坂井 剛	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

今までの学習のまとめとして、各自でテーマを決め、作品を完成する。作業は1~3人のグループで行い、プロジェクト管理についても経験する。最後に作品について発表し、論文を執筆し提出する。

【講義概要】

指導教員は、システムの全体設計に関わる相談、発表指導、論文指導を行う。評価は、発表を重視する。

回	授業計画及び学習の内容
1	チーム決め。
2	テーマ決定、リーダー決定。テーマ発表準備
3	第1回 中間発表（テーマ発表）
4	中間発表の批評を受けてテーマの再検討、制作作業
5	制作作業
6	制作作業
7	制作作業
8	第2回 中間発表（制作システムの何らかの画面や機能を最低限1つは見せること）
9	制作作業
10	制作作業・発表準備・卒業論文執筆
11	制作作業・発表準備・卒業論文執筆
12	制作作業・発表準備・卒業論文執筆
13	第3回 卒業制作発表リハーサル（制作システムのデモを必ず含めること）
14	最終発表調整
15	第4回 卒業制作発表

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%			30%		100%

（補足） 単位修得のためには指定された課題演習を提出することが必須となる。
授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

大学院出身後、8年間企業においてSEとして業務に携わる。
その後2010年より教員として勤務。

【教科書・参考文献】

各自で準備

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	選択	エクスターンシップ I		情報処理科 担当教員	無	4単位 60時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

実際に情報処理関連業務の就業を経験する

【講義概要】

情報処理関連業務へ就業し、実際の業務に携わることで業務経験を積む。その業務経験のレポートを作成する。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	情報処理関連業務への就業を経験。 業務により得られた経験をレポートとして作成する。
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%		50%			100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

-

【教科書・参考文献】

-

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	選択	エクスターンシップⅡ		情報処理科 担当教員	無	4単位 60時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

実際に情報処理関連業務の就業を経験する

【講義概要】

情報処理関連業務へ就業し、実際の業務に携わることで業務経験を積む。その業務経験のレポートを作成する。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	情報処理関連業務への就業を経験。 業務により得られた経験をレポートとして作成する。
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%		50%			100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

-

【教科書・参考文献】

-

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門 必修	講義	セキュリティⅡ		仲 智弘	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
情報セキュリティマネジメント試験に合格する。							
【講義概要】							
IPA 公開のサンプル問題の解析、過去問演習。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	予想問題：科目B						
2	予想問題：科目B						
3	予想問題：科目B						
4	予想問題：科目B						
5	傾向と対策、計算問題の対策						
6	傾向と対策、計算問題の対策						
7	傾向と対策、計算問題の対策						
8	傾向と対策、計算問題の対策						
9	予想問題：科目A						
10	予想問題：科目A						
11	予想問題：科目A						
12	予想問題：科目A						
13	過去問演習						
14	過去問演習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	60%	0%	0%	40%	0%	100%	
(補足)	授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること 中間試験は実施しない						
【教員紹介】							
仲智弘：独立系IT企業にてSE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
情報処理教科書 出るところだけ！情報セキュリティマネジメント [科目A] [科目B] 2026年版							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門	選択	セキュリティⅢ		砂賀 勝己	無	2単位 30時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

マイクロソフト/Windowsのセキュリティの基礎をベースに、セキュリティに関する素養を身につける。

【講義概要】

マイクロソフト/Windowsのセキュリティの基礎をベースに、セキュリティに関する素養を身につける。

回	授業計画及び学習の内容
1	セキュリティ基礎
2	セキュリティ基礎
3	攻撃手法
4	攻撃手法
5	ネットワークのセキュリティ
6	ネットワークのセキュリティ
7	中間試験
8	OSのセキュリティ
9	OSのセキュリティ
10	OSのセキュリティ
11	クライアントとサーバー、アプリケーションのセキュリティ
12	クライアントとサーバー、アプリケーションのセキュリティ
13	クラウドのセキュリティ
14	理解度確認
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	100%					100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

教育機関にて学内ネットワークや成績管理システム等の学内インフラの設計や運用保守等に従事
教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当

【教科書・参考文献】

-

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎専門 必修	講義	基本情報対策Ⅱ		太田 和也	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
基本情報技術者試験科目Aにおいて、合格水準の力を身につけることを目標とする。																					
【講義概要】																					
基本情報技術者試験の科目A及び旧午前試験の過去問題、公開問題、サンプル問題を中心に演習・解説を行う。 基本情報技術者試験科目A免除又は基本情報技術者試験を合格した場合は、本授業は免除とする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	過去問演習																				
2	過去問演習																				
3	過去問演習																				
4	過去問演習																				
5	過去問演習																				
6	過去問演習																				
7	中間試験																				
8	過去問演習																				
9	過去問演習																				
10	過去問演習																				
11	過去問演習																				
12	過去問演習																				
13	過去問演習																				
14	過去問演習																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
独立系IT企業にて、アンチウイルス製品のプリセールスおよび製品導入作業、サーバの設計、構築、保守に従事。																					
【教科書・参考文献】																					
IPAが公開している過去問題、サンプル問題																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎 必修	講義	基本情報対策V		坂井 剛	有	2単位 30時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験の科目Bへの対策を行う。

【講義概要】

科目B試験のサンプル問題や模擬問題を解かせ、解説を行う。
基本情報技術者試験（または応用情報技術者試験）の合格で本講義は免除となる。

回	授業計画及び学習の内容
1	科目B試験対策①
2	科目B試験対策②
3	科目B試験対策③
4	科目B試験対策④
5	科目B試験対策⑤
6	科目B試験対策⑥
7	中間試験
8	科目B試験対策⑦
9	科目B試験対策⑧
10	科目B試験対策⑨
11	科目B試験対策⑩
12	科目B試験対策⑪
13	科目B試験対策⑫
14	科目B試験対策⑬
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%			30%		100%

(補足) 単位修得のためには指定された課題演習を提出することが必須となる。
授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

大学院卒業後、SEとして8年間開発業務に携わる。2010年より本校の教員として勤務。
基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、及び他の高度情報技術者試験を取得。

【教科書・参考文献】

「情報処理教科書 出るところだけ！基本情報技術者 [科目B] 第4版」 (翔泳社)
「令和08年 基本情報技術者 パーフェクトラニング過去問題集」 (技術評論社)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2026	2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
専門基礎 選択	講義	国家試験対策 I	産学連携	無
単位・時間数				
2単位 30時間				

【授業の到達目標及びテーマ】

半期に一度集中講義の形で開講

- ・基本情報技術者対策
社会人向けに資格対策講座を実施している教育ベンダと提携し、講師を派遣してもらい講義を行う。
- ・ITパスポート対策
e-ラーニング講座
- ・情報セキュリティマネジメント
社会人向けに資格対策講座を実施している教育ベンダと提携し、講師を派遣してもらい講義を行う。

【講義概要】

-

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	★基本情報技術者対策
3	①「基本情報技術者試験の概要」 ・出題傾向と学習方法
4	②「データ構造及びアルゴリズム」 ・擬似言語の解き方、配列操作、探索アルゴリズム
5	③「データ構造及びアルゴリズム」 ・文字列操作、文字列の比較、転記、圧縮 等
6	④「データ構造及びアルゴリズム」 ・データ構造、スタック、木構造 等
7	⑤「データ構造及びアルゴリズム」 ・その他のアルゴリズム 等
8	⑥「情報セキュリティ」 ・暗号化技術、認証技術、不正アクセス対策
9	⑦「情報セキュリティ」 ・ネットワークセキュリティ、情報セキュリティマネジメント、リスク管理
10	⑧本試験の受験、または模擬テスト
11	★ITパスポート対策
12	e-ラーニング講座
13	★情報セキュリティマネジメント
14	過去問題を中心に解説
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 (補足)				100%		100%

【教員紹介】

-

【教科書・参考文献】

-

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門基礎 選択	講義	国家試験対策Ⅱ		産学連携	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
半期に一度集中講義の形で開講 ・基本情報技術者対策 社会人向けに資格対策講座を実施している教育ベンダと提携し、講師を派遣してもらい講義を行う。 ・ITパスポート対策 e-ラーニング講座 ・情報セキュリティマネジメント 社会人向けに資格対策講座を実施している教育ベンダと提携し、講師を派遣してもらい講義を行う。							
【講義概要】							
-							
回	授業計画及び学習の内容						
1							
2	★基本情報技術者対策						
3	①「基本情報技術者試験の概要」						
4	・出題傾向と学習方法						
5	②「データ構造及びアルゴリズム」						
6	・擬似言語の解き方、配列操作、探索アルゴリズム						
7	③「データ構造及びアルゴリズム」						
8	・文字列操作、文字列の比較、転記、圧縮 等						
9	④「データ構造及びアルゴリズム」						
10	・データ構造、スタック、木構造 等						
11	⑤「データ構造及びアルゴリズム」						
12	・その他のアルゴリズム 等						
13	⑥「情報セキュリティ」						
14	・暗号化技術、認証技術、不正アクセス対策						
15	⑦「情報セキュリティ」						
	・ネットワークセキュリティ、情報セキュリティマネジメント、リスク管理						
	⑧本試験の受験、または模擬テスト						
	★ITパスポート対策						
	e-ラーニング講座						
	★情報セキュリティマネジメント						
	過去問題を中心に解説						
【成績評価方法】							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
	割合				100%		100%
	(補足)						
【教員紹介】							
-							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2026	2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 選択	講義	セキュリティマネジメント対策Ⅲ	産学連携	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

国家試験 情報セキュリティマネジメント の試験対策講座。
原則として本試験の受験をすることを受講条件とする。

【講義概要】

半期に一度集中講義の形で開講。
社会人向けに資格対策講座を実施している教育ベンダと提携し、講師を派遣してもらい講義を行う。
Iと同じ内容だが、I II受講者で資格未取得者は再度受講ができる。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	①「情報セキュリティマネジメント試験の概要」 ・出題傾向と学習方法
4	②「情報セキュリティ全般」 ・情報セキュリティの概念、マルウェア、パスワードの不正入手/不正利用
5	③「情報セキュリティ全般」 ・Webサイト利用者への攻撃、サービスの妨害/悪用、人的脅威/物理的脅威/その他の脅威
6	④「情報セキュリティ全般」 ・暗号化技術/認証技術、デジタル署名
7	⑤「情報セキュリティ対策」 ・マルウェア対策、不正アクセス対策
8	⑥「情報セキュリティ対策」 ・ネットワークセキュリティ、情報漏えい対策、その他のセキュリティ対策
9	⑦「情報セキュリティ管理」 ・情報セキュリティマネジメント、ISMS、リスクマネジメント
10	⑧「情報セキュリティ管理」 ・情報セキュリティインシデント管理
11	⑨「情報セキュリティ関連法規」 ・情報セキュリティ関連法規
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合				100%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

-

【教科書・参考文献】

-

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 選択	実習	MOS対策Ⅲ		砂賀 勝己	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
マイクロソフトMOS資格の対策講座。 原則として資格試験の受験を目指すことを受講条件とする。							
【講義概要】							
模擬試験ソフトを使用し、繰り返し練習を行う							
回	授業計画及び学習の内容						
1	模擬問題ソフトを繰り返し練習し、ランダム出題で80%以上の点数取得を目指す。						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合				100%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。							
【教員紹介】							
教育機関にて学内ネットワークや成績管理システム等の学内インフラの設計や運用保守等に従事 教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2026	2年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
基礎専門 選択	講義	ITDX論文研究	情報処理科 担当教員	無
単位・時間数				
4単位 60時間				

【授業の到達目標及びテーマ】

ITやDXに関する論文を研究し、自ら論文形式のレポートの作成も行う。

【講義概要】

I情報技術の知識と共にアカデミックな論文の書き方を研究し、自らも論文形式のレポートの作成を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	学術論文の研究。論文形式のレポートの作成。
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合			100%			100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

-

【教科書・参考文献】

-

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎専門 選択	講義	社会人教養 (IT系)		情報処理科 担当教員	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
社会人として身に着けるべき教養を学ぶ																					
【講義概要】																					
e-ラーニングにより社会人として身に着けるべき教養を学習する。この科目ではIT系の知識を学習する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	e-ラーニングの内容によって異なる。 設定されている学修時間を満たすことにより単位認定が行われる。																				
2																					
3																					
4																					
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					
11																					
12																					
13																					
14																					
15																					
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他 ()</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>50%</td> <td></td> <td>50%</td> <td></td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	割合	50%		50%			100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計															
割合	50%		50%			100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。																					
【教員紹介】																					
-																					
【教科書・参考文献】																					
-																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2026	2年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 選択	講義	社会人教養（資格取得系）	情報処理科 担当教員	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

社会人として身に着けるべき教養を学ぶ

【講義概要】

e-ラーニングにより社会人として身に着けるべき教養を学習する。この科目では資格取得を目的とした学習を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	e-ラーニングの内容によって異なる。 設定されている学修時間を満たすことにより単位認定が行われる。
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%		50%			100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

-

【教科書・参考文献】

-

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2026	2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
一般教育 必修	講義	一般常識Ⅱ	唐戸 民雄	無
単位・時間数				
2単位 30時間				

【授業の到達目標及びテーマ】

基本的な計算力、一般的な漢字の読み、社会科系統・理科系統の基本的な知識を再確認する。

【講義概要】

言語事項の確認、社会科系統（地理・歴史・政治経済）、理科系統（物理・化学・地学・生物）などの基礎知識、就職試験、SPIなどでも出題される早さ、通貨算、鶴亀算などを確認する。毎回、確認テストを行う。回数が前後する場合もある。

回	授業計画及び学習の内容				
1	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算1	文章題1(仕事算)	確認点スト1
2	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算2	文章題2(年齢算)	確認点スト2
3	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算3	文章題3(植木算)	確認点スト3
4	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算4	文章題4	確認点スト4
5	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算5	文章題5	確認点スト5
6	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算6	文章題6	確認点スト6
7	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算7	文章題7	確認点スト7
8	中間試験				
9	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算8	文章題8	確認点スト8
10	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算9	文章題9	確認点スト9
11	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算10	文章題10	確認点スト10
12	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算11	文章題11	確認点スト11
13	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算12	文章題12	確認点スト12
14	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算13	文章題13	確認点スト13
15	期末試験				

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

四半世紀にわたり、東京電子専門学校において、表現技法、一般常識を担当してきました。また、他の専門学校で論文作成を、都の職業訓練校でビジネス関係の科目を教えてきました。

【教科書・参考文献】

授業時にプリントを配付する。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	基礎英語Ⅱ		Tope Salami	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
英語でパイソンプログラミングを学習し終了時には簡単なプログラミングができるようにする。																					
【講義概要】																					
TOPE先生が担当し英語で授業を行う。実際にパイソンを使いながら実習形式で授業を行う。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	自己紹介、英語の訳し方、伝え方、このクラスの目標																				
2	Introducing Python																				
3	Conversing with Python																				
4	Writing a Program (Python Script)																				
5	Writing a Program (Python Script) # 2																				
6	Review																				
7	Mid term test																				
8	Mid term review																				
9	Create your first Program																				
10	Create your first Program #2																				
11	Comments and Errors #1																				
12	Comments and Errors #2																				
13	Variables																				
14	Review																				
15	Final test																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>100%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	100%					100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	100%					100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
Tope Salami : IT関連会社運営、カナダ、サウジアラビア、日本で合計12年の英語関連、Pythonプログラミング関連の実務経験。生徒が授業に積極的に参加する雰囲気作りに情熱を注いでいる。”																					
【教科書・参考文献】																					
-																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2026	2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
一般教育 選択	講義	表現技法	唐戸 民雄	無
単位・時間数				
2単位 30時間				

【授業の到達目標及びテーマ】

前半では日本語についての再確認をする。些細なことでもかまわないので、自分たちの言葉についての意識を持って欲しい。後半は、社会人として仕事していく上での基本、ビジネス文書について学ぶ。

【講義概要】

普段使っている日本語を見直す。また、ビジネスの現場での文書の意義、働き、流れ等を確認する。社会人としての基本を身につける。毎回、日本語の語彙に関する確認の小テストを行う。その他、適宜、講義内容に関連する新たな話題を紹介することもある。大きくシラバスから逸脱することはないが、内容が少し変わることもある。

回	授業計画及び学習の内容
1	表現とは何か
2	表現本能 表現行為 言語について
3	日本語について1 他言語との比較 日本語の特徴 語彙の面から①
4	日本語の特徴 語彙の面から② 表記の面から など
5	日本語の文体 音声言語と文字言語の相違
6	文章の構成 横書き原稿用紙の使い方
7	読点の付け方 中間試験対策
8	中間試験
9	ビジネス文書 概説 問題演習
10	ビジネス文書 社内文書① 問題演習
11	ビジネス文書 社内文書② 問題演習
12	ビジネス文書 社外文書① 問題演習
13	ビジネス文書 社外文書② 問題演習
14	ビジネス文書 まとめ 確認演習問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足) レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

四半世紀にわたり、東京電子専門学校において、表現技法、一般常識を担当してきました。また、他の専門学校で論文作成を、都の職業訓練校でビジネス関係の科目を教えてきました。

【教科書・参考文献】

授業時にプリントを配布する。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 選択	実習	プレゼンテーション		山際 能理子	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
効果的なプレゼンテーションスキルを習得し、社会人基礎力としての発信力・傾聴力を磨き今後の就職活動に活かす							
【講義概要】							
中間テストまでは、プレゼンテーションの基本理論や心理学を学びながら説明や説得力のテクニックを実習します。中間テスト後は、課題に向けてチーム作業を実施し、最終発表します。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	【オリエンテーション】	説明力概要		説明と説得			
2	【心理メカニズム】	聞き手の心理を理解する					
3	【非言語情報】	視覚情報と聴覚情報の重要性	空間管理とツールの活用	実習①			
4	【説得力テクニック】	インタビュー	プランニング	ネゴシエーション			
5	【論理構築】	演繹法と帰納法				実習②	
6	【プレゼンテーション基礎】	全体構成	PREP法		実習③		
7	【プレゼンテーション基礎】	全体構成	SDS法		実習④		
8	【スライドの作り方】	文字	図形	レイアウト	配色	グラフや画像処理	
9	★個人プレゼンテーション 1分間発表						
10	【チーム編成】	ブレインストーミング	チーム名決定	全体構成案			
11	【チーム作業1】	分担作業					
12	【チーム作業2】	分担作業					
13	★チーム総合発表						
14	【総合評価】	各チームの評価・検討					
15	【まとめ】						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	70%			30%		100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること ・中間テストはプレゼンテーションの理論に関する筆記テストがあります。期末テストは、個人発表とチーム発表がテストです。授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること 						
【教員紹介】							
東京電子専門学校では、情報処理科 電子技術科、臨床工学科において、プレゼンテーションやビジネスマナー等を担当する。その他、大学での就職講座、企業や官庁においての階層別研修を担当する。							
【教科書・参考文献】							
説明力強化（拙著）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅱ		情報処理科 担当教員	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
<p>運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育みます。 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4時間程度歩き、心身のバランスを図ります。 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。 心身の健全な育成を目指しています。</p>							
【講義概要】							
この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	春のハイキング						
2							
3							
4	学園祭準備（1日目、2日目）						
5							
6							
7	学園祭（1日目）						
8							
9							
10	学園祭（2日目）、後片付け						
11							
12							
13	秋のハイキング						
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合				100%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。							
【教員紹介】							
-							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 選択	実習	体育実習Ⅲ		情報処理科 担当教員	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
<p>運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育みます。 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4時間程度歩き、心身のバランスを図ります。 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。 心身の健全な育成を目指しています。</p>							
【講義概要】							
この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	春のハイキング						
2							
3							
4	学園祭準備（1日目、2日目）						
5							
6							
7	学園祭（1日目）						
8							
9							
10	学園祭（2日目）、後片付け						
11							
12							
13	秋のハイキング						
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合				100%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。							
【教員紹介】							
-							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 選択	講義	社会人教養（非IT系）		情報処理科 担当教員	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
社会人として身に着けるべき教養を学ぶ							
【講義概要】							
e-ラーニングにより社会人として身に着けるべき教養を学習する。この科目では非IT系の知識を学習する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	e-ラーニングの内容によって異なる。 設定されている学修時間を満たすことにより単位認定が行われる。						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	50%		50%			100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。							
【教員紹介】							
-							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2026		2年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 選択	実習	課外活動Ⅱ		情報処理科 担当教員	無	1単位 15時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
インターンシップで就業体験をしたり、企業との産学連携事業を通して特別授業やセミナーを受講、外部の勉強会やコンテスト参加など、就職に役立つ知識の習得や最新の技術動向に触れるなど、学内の授業だけでは体験できないことを経験する。							
【講義概要】							
参加した時間数に応じて1次元単位時間を超えた場合に1単位を認定する							
回	授業計画及び学習の内容						
1	インターンシップ、企業が実施する特別授業、セミナー受講、外部の勉強会参加、コンテスト参加など						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(出席と取り組む姿勢)	合計	
割合				50%	50%	100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。							
【教員紹介】							
-							
【教科書・参考文献】							
-							